



心肺蘇生法を学習して



射水市立射北中学校 2 学年

6 月 1 5 日に学校医の乙田先生、射水市医師会の医師や看護師、新湊消防署の救急救命士や女性消防団員の方々を講師に迎え心肺蘇生法実技講習会を行いました。命の大切さや救急車が来るまでの応急手当の手順を実習人形やAEDトレーナーを使って学びました。

普段やることでないので、分からないことがたくさんありました。多少知っていたことが違って、びっくりしました。ただ、心臓マッサージをするだけではなく、マッサージ 30 回 + 人工呼吸 2 回を続けるということ、他の人に手伝ってもらったときに、どうやって協力していただくかもすっかり覚えたので、忘れずにしていきたいです。(男子)



人形が固くて押すのが大変でした。AEDを素早く用意しなくてはいけないので、とまどってしまったけど、指導してくださった方に、優しく教えていただき、とてもスムーズにすることができました。実際に起きたら、多分、怖くてできないと思いました。だけど、その人を助けるには勇気を振り絞って助けてあげることができたらよいと思います。(女子)

心肺蘇生法の講習を終えて思ったことは、心肺蘇生法は大事なんだなということです。なぜなら、救急隊が到着後に電気ショックを行った場合、社会復帰できるのは 18.9% だけど、住民が救急隊の到着前に電気ショックを行った場合、社会復帰できるのは 43.3% だからです。これからも、もしこういう場合が起きたなら、覚えたことを生かしてがんばりたいです。また周りの人と協力して行きたいです。(男子)



胸骨圧迫は、予想以上に強い力を使わなければいけないことにびっくりしました。もし、本当に目の前で起こってしまったら、この授業を生かしたいと思います。しっかりと声を出せなかったのが、目の前で起こったら大きな声で助けを求め、パニックにならずに処置をしたいと思いました。応急手当がないと命を落としてしまうこともあるので、今回の講習はとてもよい学習になりました。(女子)

僕は、AEDを使ったり、心肺蘇生法の練習をしたことがなかったので、できてよかったです。胸骨の圧迫はテレビで見たことがあったけど、しっかりしたやり方を知らなかったのを知ることができてよかったです。AEDの使い方や人工呼吸の仕方も分かりました。学校や公共施設のAEDの場所を知らないの調べてみたいと思います。(男子)



生まれて初めて心肺蘇生法を教えていただき、今後の生活に少しでも、生かしていきたいなあと思いました。心臓をバクバクする時に、位置がちょっとでもずれていたらだめなんだと思いました。いつどこでだれが倒れるか分からないので、もらったパンフレットを読んでおきたいです。1人でやるとつらかったの3人くらいいると大丈夫のかなと思いました。(女子)



前に個人的に講習に行っていた時はしっかりできましたが、今日やってみると少し忘れてしまったり、うまく動けなかったりしたので、「また覚えなないといけなないなあ。」と思いました。今日の講習で、胸骨圧迫やAEDの使い方を改めて覚えることができました。まだ本当に行ったことはないけれど、もし誰かが倒れていたりしたときは、怖がらずに実行したいです。(男子)

今日の心肺蘇生法では、心臓マッサージや人工呼吸、AEDの仕方などを教えていただきました。また、倒れている人を見たら声をかけたり、周りの人に助けを求めたりすることが大切です。そして、その後に救急車がくるまでに処置をするかどうかでその人が助かるかどうかが決まってくるので、心臓マッサージや人工呼吸は大切だなと思いました。AEDも今までは使い方が全く分からなかったけど、今日教えていただいたおかげで、AEDの使い方が分かりました。今日学んだことを生かして、実際にそういった場面に出くわした時、対応できるようにしたいなあと思いました。(女子)



<子ども救急員>

今年度は、射水市の子ども救急員育成プロジェクトで、心肺蘇生法の講習を受けたことがある生徒7名も他の生徒のお手本となるよう演習時に取り組んでくれました。

